

台北芸術大学文化資源学院 表敬訪問

日 程：2023年3月31日（金）

会 場：横浜キャンパス

参加者：小熊 誠 角南聡一郎

台北芸術大学学長一行の表敬訪問

角南 聡一郎

2023年3月31日午前、台北芸術大学学長一行が神奈川大学を表敬訪問された。国立台北芸術大学文化資源学院と日本常民文化研究所は、無形・有形文化財研究、博物館学などの方面で共同研究を推進するべく、2020年に学術協定を結んでいる。今回の一行には加わっていないが、文化資源学院院長林承緯教授は、日本民俗学のよき理解者かつ研究者として知られる。コロナ禍により協定締結以来3年間、交流が全くできない状況にあった。今回の訪問は、学術交流の再開を確認するためのものであった。一行は、陳愷璜学長、林亞婷国際事務長（舞蹈学院舞蹈理論研究所副教授）、林子竝学生事務長（戯劇系副教授）、陳姵君学長秘書の4名であった。まず、昆政明所員の案内で、3



写真1 資料整理修復室／収蔵庫にて会談



写真2 常民文化ミュージアムを見学



写真3 非文字資料研究センターのパネル展を見学



写真4 小熊学長を中心に記念撮影

号館資料整理修復室／収蔵庫、続いて常民文化ミュージアムを見学された。続いて一行は1号館学長室にて、小熊誠学長を表敬訪問された。

なお林承緯教授の単書には、以下のようなものがある。『宗教造型與民俗傳承：日治時期在臺日人的庶民信仰世界』（藝術家出版社、2012年）、『就是要幸福：台灣的吉祥文化』（五南圖書出版、2014年）、『金瓜石神社與山神祭』（新北市立黃金博物館、2014年）、『信仰的開花：日本祭典導覽』（遠足文化、2017年）、『台灣民俗學的建構：行為傳承、信仰傳承、文化資產』（玉山社、2018年）。また林教授の共著／共編著としては次のようなものがある。『臺灣神社獨木大鼓研究報告』（黃士娟、吳昱瑩と共著、國立臺灣博物館、2008年）、『殯葬會場規劃與設計』（共編著、國立空中大學、2015年）、『神像篇：造像之美』（張靖委と共著、財團法人台北市關渡宮、2015年）、『民俗文化資產在臺北：請關渡媽、跳鍾馗、舢舨龍山寺中元盂蘭盆勝會』（張靖委と共著、台北市立文獻館、2017年）、『北港進香：往返台灣人心靈原鄉的宗教旅程』（黃偉強と共著、雲林縣文化局、2022年）、『紙上乾坤：張秋山の糊紙藝術』（黃秀梅、盧坤輝と共著、台北市政府文化局、2022年）、『天地一紙：李清榮的糊紙藝術』（呂江銘と共著、台北市政府文化局、2022年）。